

マロニエBIMコンペ OSAKA 2023

【開催日】2023年11月11日（土）2次（公開）審査・授賞式 【場所】梅田スカイビル 22階

エントリー受付：2023年9月8日（金）～10月6日（金）
課題発表・オンライン説明会：2023年10月7日（土）
コンペ提出締切り日：2023年10月16日（月）
1次審査通過者発表：2023年10月30日（月）

最優秀賞
優秀賞
奨励賞
審査委員長特別賞



テーマ：水都 OSAKA “中之島” を考える

PLATEAU VIEW App 大阪市北区の建築モデル LOD1（国土交通省）

建築界のデジタルトランスフォーメーションの中核的基盤をなす技術として BIM は国際的に普及拡大を続けています。わが国でも将来の社会経済活動を支えるその重要な位置付けを国家的政策として認識され、今年度から建築 BIM 加速化事業が開始され、2025 年度には確認申請業務における BIM 図面審査が開始されることも国土交通省より発表されるなど、本格的な BIM の展開時期に入っていると考えられます。

本マロニエ BIM コンペティションは 2014 年に建築を学ぶ学生に BIM を知ってもらうため始めましたが、2021 年には日本建築士事務所協会連合会が主催となって、建築設計に関わるすべての皆さんを対象を広げ、全国各地の建築士事務所協会が設定したそれぞれの地域の特徴的課題を BIM による設計提案で競うことでその大きな可能性への理解を深め普及を促進する形式に進化してまいりました。そして今年度は大阪府建築士事務所協会が、水都大阪の商業的な歴史的原点でもあり近代の大阪の情報と文化の発信地でもあるエリア「中之島」を舞台に行うこととなりました。

BIM には設計の業務効率化を目指す手段という側面だけでなく、これまでには経済的に不合理だった形状などの建設方法を革新的に効率化することで新たなデザインを実現可能にするという側面や、これからの社会生活のスマート化の一環として高度な建物データの存在を利用者の利便性や快適性に役立て、安全性や維持管理の向上にも結びつける手段としての側面があります。すなわち設計時から BIM が使われることによりさまざまなシミュレーション予測や自動生産加工技術と結びつき、適応的な環境制御や災害対策などが可能になるサステナブルな未来の建築を目指すことこそが、その社会的な意義であると考えられます。本マロニエ BIM コンペティションでは、これまでもこうした点を重視し、BIM 設計を通じた具体的な建築的実践のわかりやすい事例を示すことこそが、建築設計業界内だけでなく一般社会に BIM 利用の価値を理解してもらい、その普及を促進するものであると主張してまいりました。

このような基本的な考えに基づき、2025 年大阪・関西万博を機にさらなる国際的な飛躍を遂げる大阪の歴史と文化を象徴する「中之島」の空間の魅力と地域の活力をさらに高める提案を示すことが本コンペティションの参加者には期待されています。BIM の持つさまざまな利点を技術的背景として、施工方法やそのコストパフォーマンス、環境性能や維持管理・利用方法の革新的提案に至るまでのすべての側面を総合した建築デザインによる水辺景観の美しさによって BIM の価値を提示してください。

（審査委員会 コーディネーター・東京大学工学系研究科建築学専攻 特任教授 池田靖史）

クリエイティブアイランド中之島実行委員会／一般社団法人中之島まちみらい協議会